

令和5年度「#あおばな in 五所川原工科高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和5年11月1日（水）14：00～15：15

○場所：県立五所川原工科高等学校 第1体育館

○参加学生：1学年生徒138名 2学年生徒70名 計208名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見に知事がお答えしました。

- ①青森県の魅力を情報発信するときに考慮することについて
- ②食品ロスを減らす取組の効果的な実施方法や周知方法について
- ③農産物のPRと農業従事者確保イベント開催のための工夫について
- ④青森県への観光客を増やす取組（りんごを使ったゲーム）について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

野球ボールを使ったゲームが皆に教えてくれたこと、私たちに教えてくれたことは「対話の重要性」です。皆一つの方向性に向かって対話をはじめて、そして解決策を見つけて、見事に成果を出してくれたと思っています。これが「対話の力」です。

私は対話を本当に大事にしています。今日の対話を通じて、皆さんからたくさんのヒントをもらっただし、皆、それぞれに素晴らしい意見を言ってくれたと思う。それが本当の意味での皆さんの力です。

校則について意見交換したけれど、自分たちのルールは自分たちでしか変えられない。そして変えるためにはいろんなアクションも必要だし、考えていかなきゃいけないこともあるけれど、まずはこの「対話」という手法を皆さんに置いていきたいと思います。一人で考えないで、皆で何か答えを見つける。その答えは間違いかもしれないけど、さらにその先の答えを出し続けることも、この「対話」でできると思いますから、是非頑張ってくださいと思います。

